

平成30年度 国立吉備青少年自然の家教育事業
リメンバー桃チャレ

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

8月に行われた「桃太郎チャレンジキャンプ」から約半年が過ぎ、寝食を共にした仲間たちと再会し、現在の様子について伝えあう。また、4月から次の学年へ上がることを考え、さらなるチャレンジに取組み、自信をつけ、自己肯定感を上げることを目的とする。

2. 事業の概要

（1）期日

平成31年1月12日（土）～1月14日（月） 2泊3日

（2）参加者

① 募集対象・人数

桃太郎チャレンジキャンプに参加した

小学校3・4年生 22人（全日程参加者）

桃太郎チャレンジキャンプに参加したボランティア 11人

② 参加人数

桃太郎チャレンジキャンプに参加した 18人

桃太郎チャレンジキャンプに参加したボランティア 5人

（3）企画・運営のポイント

- ① 夏に開催した「桃太郎チャレンジキャンプ」との一貫性を重視した活動にするため、「自分のことは自分です」「何事にもチャレンジする」「みんなのことを考えて行動する」の3つの約束を継続させた。
- ② 次の学年へ上がるステップとして、ロングロングウォーク（夏には二日間に分けて歩いた道のり）を取り入れ、夏のキャンプよりも負荷の高いチャレンジを行った。
- ③ 各班の仲間との思い出を共有できるよう、ボランティアも含めて夏と同じ仲間での班構成をして活動を行った。
- ④ フェイスブックに毎日の活動の様子を掲載して情報発信することで、保護者にも我が子のがんばりを確認できるようにした。
- ⑤ 最後の振り返りでは、子供たちが一人一人今後頑張ることを発表し、キャンプ後の生活に活かすことができるように展開した。
- ⑥ 最終日には記念品として写真たてを作成し、仲間との思い出を持ち帰ることができるようにした。

3. 活動の内容等

(1) 日程

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1/12 (土)								受付	開会式 お久しぶりの会		再チャレンジ オリエンテーリング	夕食の 調理	夕食 調理	入浴	振返り		就寝
1/13 (日)	起床・洗面	朝食調理	ロングロングウォーク 吉備津神社～鬼の城 昼食(弁当)									夕食の 調理	夕食 調理	入浴	振返り		就寝
1/14 (月)	起床・洗面	朝食調理	朝のつどい	清掃	荷物整理	点検	記念品作り	昼食 レストラン	振返り	閉会式							

(2) 活動の状況



【開会式 お久しぶりの会】



【再チャレンジオリエンテーリング】



【再チャレンジオリエンテーリング】



【1日目夕食調理:すき焼き】



【ロングロングウォーク】



【ロングロングウォーク】



【ロングロングウォーク】



【2日目夕食調理:野菜炒め乗せラーメン】



【記念品作り】



【記念品作り】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：100%

(2) 参加者の声

- ① またみんなと会えてよかった。
- ② ロングロングウォークでみんなと協力して歩くことができ良かった。
- ③ 正直、ロングロングウォークを完歩できると思っていなかったが、全員でゴールできてうれしかった。
- ④ 自分から積極的にみんなの役に立つことができるようになった。
- ⑤ 早寝早起きができたり、いろんな料理が作れたりできるようになった。

(3) 成果

- ① 活動自体を楽しむことよりも、6泊7日活動を共にした仲間との再会を喜んで
いる姿を見られたことが大きかった。そんな中で互いの成長を確かめ合うことが
できた。
- ② ロングロングウォークでは、一度歩いたことがある道のりであったため、見通
しをもって、全員がリタイアすることなく歩き切ることができた。
- ③ 閉会後には、仲間同士で連絡先を交換するなど、今後のつながりを期待できる
ような様子が見られた。

(4) 今後の課題

- ① ボランティアの成人式と重なり、「桃太郎チャレンジキャンプ」へ参加した全
員が「リメンバー桃チャレ」に参加できなかったため、日程時期について考慮が
必要であった。
- ② 2日目に早朝から調理を行い、所外へ出発する活動は、小学3・4年生にとっ
てはハードルが高かったため、時間に余裕を持った活動内容を考慮すべきであっ
た。
- ③ 年度内に同じ対象の子供たちを集めたキャンプを行うことは、対象者理解を高
めた上での活動を設定することができたが、次年度にシリーズ化を図るかについ
ては今後検討する必要がある。

担当：企画指導専門職付 貞方 貴衣